

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 4 月 1 日 公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令の基準を上回るスペースを確保し、児童に分かりやすく学習指導室、余暇室に分け、集中できる環境です。	今後も定員とスペースが適切な関係になるよう努め、工夫して参ります。
	2	○		法令の基準以上の人員配置です。また全職員が保育士や児童指導員の専門職員で対応しており十分な人員配置を行っています。	今後も適切で専門性のある職員配置を行って参ります。
	3	○		現時点では車椅子利用の児童の利用契約はありません。事業所は2階建てですが、2階への階段は手すりを設置し、昇降には職員が付き添って安全に配慮しています。2階の指導室はフラットで、凹凸をなくし、児童の動線を考慮し、安全に机や棚の位置を設定しています。	今後も継続して児童の安全に配慮し、適切な環境を心掛けて参ります。
	4	○		毎日児童の退所後に、机・椅子・道具等も消毒し、清掃を徹底しています。児童に理解しやすい環境の整備に取り組み、視覚的にも分かりやすく活動しやすいよう配慮しています。	衛生環境への配慮は継続し、尚一層児童の特性に配慮し、活動に合わせた活動空間を保つよう心掛け、児童にとって居心地の良い空間作りを心掛けて参ります。
業務改善	5	○		業務改善につながる気付きや問題点は、都度朝の会にて、または定期的なリフレクション会議等で、常勤、非常勤問わず参画し、活発な意見交換が行われており、PDCAサイクルに則って把握と改善点を討議しています。	今後も朝の会で改善すべき点を話し合い、リフレクション会議で、各自が評価し、改善策を検討、提案して業務改善に繋げて参ります。
	6	○		日頃から送迎時などを通じて保護者様のご意向を伺うよう努めています。また年1回、保護者向けアンケートを活用し、業務改善に繋げています。頂いたご意見は、職員で周知・検討し、改善へ向けた会議を実施しています。	今後も頂いた評価に基づき業務改善に繋げていきます。ご意見を踏まえて、できることから少しずつ業務改善を行って参ります。
	7	○		自己評価の結果は、公式 Web サイトで公開しています。	今後も、公式 Web サイトにて公開を行って参ります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後課題として検討して参ります。
適切な支援の提供	9	○		職員資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	今後は研修回数を増やすことも検討し、更なる職員資質向上に努めたいと考えています。
	10	○		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	今後もアセスメントを継続し児童にとって最適なサービス計画のため、また保護者様のご意向も汲み取った支援計画となるよう努めます。
	11	○		子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	今後も継続して正確にアセスメントができるよう努めて参ります。
	12	○		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	今後もガイドラインに沿って、概ね半年ごとに、また必要であれば適宜、モニタリング、担当者会議にて見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、具体的な支援内容、個別支援計画を作成して参ります。
	13	○		児童発達支援計画に沿った支援が行われている	今後も継続して支援計画に沿った支援が行われるよう、都度児発管にも確認し、助言を仰ぎながらより良い支援を行って参ります。
	14	○		活動プログラムの立案をチームで行っている	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画して参ります。
	15	○		活動プログラムが固定化しないよう工夫している	児童が興味・関心を示し、それが動機付けとなって意欲的に取り組む姿勢を引き出せるよう、職員で協力し、固定化しない活動提供を心掛けます。
	16	○		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	今後も、児童の発達段階を把握した上で、適切な個別と集団のそれぞれの活動を組み合わせ、支援計画を立案し、支援に努めて参ります。
	17	○		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	今後も毎朝朝会を続け、情報共有を行い、職員の認識一致を図り、支援に取り組んで参ります。
	18	○		支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	今後も継続して共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底して参ります。
関係機関や保護者との連携	19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	今後も継続して記録の記載を徹底して参ります。
	20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	半年ごとの個別支援計画書の見直し時期だけでなく、保護者様からのご要望があった際、家庭連携、関係機関連携時に、必要に応じて実施して参ります。児童の現状を把握し、保護者様のご意向の確認の上、計画の作成や見直しを判断して参ります。
	21	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	今後も継続し児発管が関わり、支援計画や活動案に活かして参ります。
	22	○		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	今後も関係機関とは積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用連携の事業所とも繋がりを絶やせず、より良い支援に活かして参ります。
	23	○		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	今後、対象児童の受け入れを行うこととなった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えられるよう、検討して参ります。
	24	○		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	今後、対象児童の受け入れを行うこととなった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えられるよう、検討して参ります。
	25	○		移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後も連携し、情報や助言を頂きながら、児童の課題に向き合って参ります。
	26	○		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後も関係機関等へ情報提供、児童の移行先での活動に役立てて頂きたく思っています。保護者様と学校と事業所で更に深い連携を図って参ります。
	27	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後は関係機関とは積極的に連携を図り、研修や助言を受けて参ります。
	28	○		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	保護者様のご意見を仰ぎながら外部の子ども等との交流を検討し、相互協力により活動の場を広げられるよう検討して参ります。
保護者への説明責任等	29	○		(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	今後は研修や講義等に積極的に参加し、能力向上に繋げて参ります。
	30	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めます。
	31	○		保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	今後もペアレント・トレーニングを継続し、保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めて参ります。
	32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	これからも分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	今後も同様にご意向や児童の状況に応じて支援計画を作成し、丁寧な説明を心掛けて参ります。
	34	○		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要に応じて支援を行っている	今後も継続して、子育てのお悩みに応じて支援計画を相談し、保護者様に寄り添った対応を心掛けて参ります。
	35	○		父母の会等の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	今後も保護者様同士や保護者様と職員との交流機会を検討し、定例化して参ります。
	36	○		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	今後も保護者様から忌憚なくご意見を頂けるよう信頼関係の構築に努め出来るだけ迅速な対応を行い、問題解決を図って参ります。
	37	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	今後も継続して情報の発信を行い、保護者様にも更にCOMPASSに親しんで頂けるよう努めて参ります。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を徹底して参ります。
非常時等の対応	39	○		言葉だけでなく、表情や仕草からも気持ちを汲み取れるよう努め、児童には特性に合わせた伝達方法を選択し、保護者様にも分かりやすい説明や情報伝達を心掛けています。	今後も個々の特性を考えながら、情報伝達や意思疎通に配慮して参ります。
	40	○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	今後は保護者様のご意向を踏まえた上で、地域イベントに児童を踏まえた上、事業所の行事に近隣の方々をお招きする等交流の機会を検討して参ります。
	41	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	各種マニュアルは新しい情報による更新を行い、整備に努め、保護者様へもご覧頂けるようにご案内を継続して参ります。
	42	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	今後も定期的な避難訓練を継続して、児童とともに命を守る訓練を続けて参ります。
	43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	事前の地域収集だけでなく定期的に保護者様から情報の更新を確認し、職員に周知、振り返りを今後も行って参ります。
	44	○		医師の指示書は全て頂くことはできていませんが、利用開始前に保護者様から聞き取り、アセスメントシートにも詳しい記載を依頼し、情報共有を徹底しています。情報を元にアレルギーシートを作成し、一覧にして周知し、アレルギー対応マニュアルも作成し、研修を行っています。	食物によるアレルギー発作を決して起こさず、命を失わないよう今後も細心の注意を払い、慎重に対応して参ります。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	今後も記録し、情報共有、認識一致の上事故防止のため、都度振り返りを心掛けて参ります。
	46	○		虐待を確保するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	今後も積極的に社内外の虐待防止への研修に参加し、職員全員で考えていきたいと思っております。
	47	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を守りながら、緊急時または、児童の命に関わる事象が起きた場合、止むを得ない状況に限り行われることを保護者様に十分に説明を行い、同意を得て、個別支援計画にも記載して参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。